


【件名】	呑川防潮堤耐震補強工事に伴う係留施設復旧工事	【事務所名】	第二建設事務所	
【工事場所】	東京都大田区大森南五丁目地内から同区東糀谷六丁目地内まで	【受注者名】	新日本工業株式会社	
【工期】	令和3年11月29日から令和4年7月28日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 漆原 正史	

【工事概要】

工事延長L=179.2m

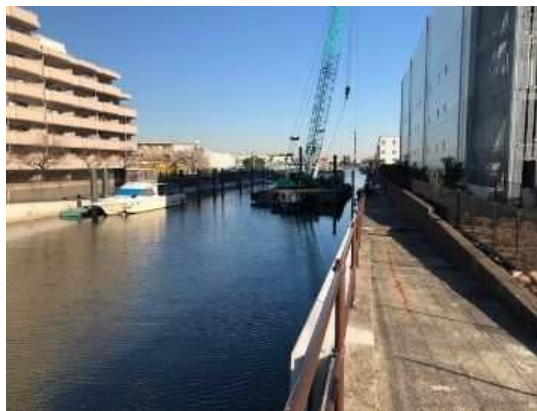
- ・係留施設復旧工 一式
- ・付帯施設工 一式
- ・公園施設復旧工 一式

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は、耐震補強事業に伴い仮移動した船舶の係留施設の復旧と、大田区から事業の作業ヤードとして長期借用した公園、道路の復旧を行う工事である。

- ・受注者は、係留施設占有者と施設の接岸テストを行うなど、個別の細かい要望を聞きながら微調整を繰り返し、工事を完了させた。その結果、すべての施設をスムーズに引継ぐことができた。
- ・船の通航に関しては、呑川に多数係留されている個人所有のプレジャーボート等の航行予定を事前にすべて把握し、作業工程を調整した。その結果、トラブルなく工事を完了させた。
- ・引継予定の棧橋の溶接検査を自主的に通常の2倍行ったほか、公園において工事対象外の電力線や管理柵についても、破損の補修や塗直しを行った。また、より見やすい潮位板への変更を提案するなど、品質の向上に努めた。大田区からも品質に関する感謝の言葉があった。

以上の通り、本工事は施工及び成果が優秀で、他の模範となるものである。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

船舶利用者からの要望のため、係留杭の配置を船毎に合わせて打設しなければいけなかった事です。また、公園復旧については大田区との打合せを密に行い早期公園の復旧を行わなければいけなかった事です。

◇ 特に工夫した点

係留杭の打設は、工期が一部重複する防潮堤耐震補強工事の地盤改良施工時に行い、お互いの工程に遅延の無い様に工程調整を行いました。また、係留施設の工場製作品については、溶接検査を通常の倍行い、より良い品質の製品を設置するように努めました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

完成までの打合せは多いですが、一つ一つの問題を丁寧に解決し、常に利用する人の事を最優先に考えた結果、竣工時には多くの人に喜ばれとてもやりがいを感じました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業は、ものづくりの楽しさと社会貢献の両立が出来ます。完成時には協力業者と達成感を分かち合え、地域住民に感謝されお礼を言っていただけの素敵な職業です。



係留施設占有者との施設接岸テスト